



Daphne Story - Tommaso Cimini と Daphne -

物語は「しっかりと照らすことができ、装飾とランプは最小限」というアイデアから始まりました。

それは、1975年にTommaso Ciminiがミラノのセドリアーノにある小さな作業場で「Daphne」をデザインした時のことです。当初、そのアイデアを形にする手段は不十分でしたが、Tommaso Ciminiの光への情熱は非常に大きいものでした。そうして研究と試作を重ねて誕生した「Daphne」は発売以来、博物館、図書館、オフィス、住宅など多くの現場で必要とされる名作となりました。

1980年Tommaso Ciminiは、イタリア・ミラノに照明メーカーLUMINA社を創立。

《フォーム（形）は機能性に従属すべき》ということをモットーに、LUMINA社のミニマムで機能的な照明器具のイメージを確立していきました。Tommaso Cimini は独創的な創造能力そして素材についての深い知識を活かし、彼のガレージにあるマシンを再構築して「Daphne」の本質的なフォームを作りあげます。試作品は、日常の条件下での機能性、デザイン性等をテストするために自宅に持ち帰り使用し、自らその「光」を体験することで人間工学的に細かく分析していきました。創業当時から変わらないクラフトマンシップへのこだわり、「光」に対しての妥協のない姿勢と品質管理は、LUMINA社の強みであり、ブランドコンセプトとなっています。

そしてLUMINA社創立より前にデザインされた「Daphne」は、デザインは一切変えることなく、高性能LEDを搭載するなど時代とともに進化しながら、今なおLUMINA社のアイコンとして、多くの建築家やデザイナー、コレクターに愛され続けています。



Cimini. Logo